

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位:円)

| 資産の部 | | 負債の部 | |
|-------------|---------------|------------------|---------------|
| I. 流動資産 | 2,425,688,850 | I. 流動負債 | 2,332,014,781 |
| 1. 現金 | 342,802 | 1. 買掛金 | 272,126,121 |
| 2. 預金 | 99,682,482 | 2. その他流動負債 | 2,043,072,062 |
| 3. 当座資産 | 837,982,359 | 未払金 | 90,525,488 |
| 受取手形 | 6,484,162 | 事業前受金 | 640,000,000 |
| 電子記録債権 | 47,332,999 | 短期借入金 | 1,300,000,000 |
| 売掛金 | 773,350,499 | 預り金 | 3,679,828 |
| 未収金 | 10,814,699 | 事業預り金 | 30,046 |
| 4. 棚卸資産 | 1,467,490,435 | 未払法人税等 | 8,836,700 |
| 商品 | 42,095,585 | 3. 賞与引当金 | 16,816,598 |
| 製品 | 9,647,922 | II. 固定負債 | 58,144,018 |
| 原材料 | 589,316,989 | 1. 長期借入金 | 16,775,000 |
| 仕掛品 | 785,500,805 | 2. 預り保証金 | 26,488,782 |
| 貯蔵品 | 40,929,134 | 3. 退職給付引当金 | 11,510,474 |
| 5. その他流動資産 | 20,190,772 | 4. 長期繰延税金負債 | 3,369,762 |
| 事業預け金 | 2,112,907 | 負債合計 | 2,390,158,799 |
| 前払金 | 50,000 | 純資産の部 | |
| 未収消費税 | 443,373 | I. 株主資本 | 768,505,487 |
| 社員貸付金 | 10,214,000 | 1. 資本金 | 45,580,000 |
| 前払費用 | 531,360 | 2. 利益剰余金 | 722,925,487 |
| 繰延税金資産 | 6,839,132 | (1) 利益準備金 | 14,750,000 |
| II. 固定資産 | 732,975,436 | (2) その他利益剰余金 | 708,175,487 |
| 1. 有形固定資産 | 251,384,935 | a. 任意積立金 | 657,049,220 |
| 建物 | 113,653,162 | b. 固定資産取得(更新)積立金 | 28,000,000 |
| 構築物 | 2,496,000 | c. 繰越利益剰余金 | 23,126,267 |
| 機械装置 | 285,981,494 | 純資産合計 | 768,505,487 |
| 車両運搬具 | 10,166,840 | | |
| 工具器具備品 | 19,721,818 | | |
| 造作 | 2,896,000 | | |
| 建物付属設備 | 12,273,610 | | |
| 土地 | 86,046,118 | | |
| 計 | 533,235,042 | | |
| 減価償却累計額 | △281,850,107 | | |
| 2. 無形固定資産 | 10,226,501 | | |
| ソフトウェア | 10,226,501 | | |
| 3. 投資その他の資産 | 471,364,000 | | |
| 投資有価証券 | 471,070,000 | | |
| 出資金 | 294,000 | | |
| 資産合計 | 3,158,664,286 | 負債・純資産合計 | 3,158,664,286 |

個別注記表

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

時価をもって評価している。

ただし、市場価格のない有価証券は、取得原価または償却原価をもって評価している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法により算定)で評価している。

ただし、茶は別途算出基準要領に基づいて評価、千切大根は総平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法により算定)で評価している。

(3) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

ア. 機械装置、工具器具備品、車両運搬具は定率法を採用している。

イ. 建物(附属設備のみ)、構築物は定額法を採用している。

ただし、28年3月31日以前に取得した建物(附属設備のみ)及び構築物は定率法を採用している。

ウ. 建物(附属設備は除く)、は定額法を採用している。

ただし、平成10年3月31日以前に取得した建物は定率法を採用している。

②無形固定資産

定額法を採用している。

(4) 重要な引当金の計上基準

①退職給付引当金

社員の期末要支給額から、(一財)全国農林漁業団体共済会が給付する退職共済給付金を差し引いた額を計上している。

②賞与引当金

次年度の夏期賞与予定額のうち、当期に係る期間分相当額を計上している。

(5) 消費税の会計処理は、税抜方式を採用している。

(6) 会計上の利益と税金費用との対応関係をより適正なものにするため、税効果会計を適用している。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) (一財)全国農林漁業団体共済会 共済給付金額(累計) 74,357,886 円(平成31年3月31日現在)

(2) 法人税・住民税は、法人住民税を含んでいる。